

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成23年11月7日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 喜与志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 溝口 清 (TEL) 076-274-0123(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
 配当支払開始予定日 平成23年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,321	32.9	140	—	171	—	101	406.8
23年3月期第2四半期	4,757	219.8	△210	—	△184	—	20	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 95百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.47	9.41
23年3月期第2四半期	1.87	1.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,915	8,204	54.6
23年3月期	14,343	8,129	56.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,138百万円 23年3月期 8,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	14,028	28.1	872	948.7	959	626.6	587	75.6	54.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成23年11月7日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	11,020,000株	23年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	273,129株	23年3月期	302,084株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,725,605株	23年3月期2Q	10,718,003株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 4 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や電力不足問題などの不安要素がありながらも、生産活動が回復に向かい、緩やかに改善してきました。しかし、円高が更に進み、海外経済の減速感も強まってくるなど、景気下振れリスクが存在していました。

工作機械業界におきましては、中国経済の減速や円高などの懸念材料で先行きが楽観視できない状況にあるものの、平成23年9月まで22ヶ月連続で月次受注額が前年同月を上回っております。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は63億21百万円と、前年同期に比べ15億63百万円(32.9%増)の増収となり、営業利益は1億40百万円(前年同期は2億10百万円の営業損失)、経常利益は1億71百万円(前年同期は1億84百万円の経常損失)、四半期純利益は1億1百万円(前年同期比406.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

工作機械事業

工作機械事業におきましては、堅調な需要増加に対応して、市場シェア拡大のために受注確保をはかってきました。特に高い需要があるタイ市場では、現地連結子会社にてプライベート・ショーを開催し、積極的な営業活動に注力してきたほか、欧米市場でも需要が回復していることから、アメリカでのオープンハウス開催やEMO2011(ドイツ)出展などを行ってきたことによって、前年同期を上回る多くの引合・受注を獲得してきました。

中国市場では、新設した喜志高松貿易(杭州)有限公司によって、新規ディーラー開拓とタカマツブランドの市場浸透を推進し、販売力の強化をはかってきました。

また国内市場でも自動車業界からの需要が回復してきていることから、本社工場で開催した設立50周年記念プライベート・ショーやMECT2011(名古屋)出展で新製品を紹介して、その需要を取り込んできました。

研究開発におきましては、当社グループにとって初の本格的な複合加工機となる「XB-1000」を開発したほか、従来機のモデルチェンジとして、更に生産性を向上させた「XY-120 PLUS」を開発しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における工作機械受注高は58億15百万円(前年同期比36.2%増)と堅調に推移し、工作機械受注残高は50億69百万円(同70.3%増)となりました。

売上高におきましては、56億41百万円(同34.3%増)となり、内需は30億7百万円(同6.5%増)、外需は欧米市場の売上回復や堅調なアジア市場での需要を取り込んだことで、26億34百万円(同91.2%増)、外需比率は46.7%(前年同期は32.8%)に増加しております。また、営業利益は1億11百万円(前年同期は2億14百万円の営業損失)となりました。

IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、半導体向け製造装置の旺盛な需要を受け、売上高が計画を上回って堅調に推移してきました。また、新たな受注確保に向けた営業活動を推進してきました。

この結果、売上高は4億60百万円(前年同期比48.6%増)となり、営業利益は32百万円(同297.3%増)となりました。

自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、東日本大震災の発生による影響で自動車メーカーが工場の稼働を停止したために生産量は減少しましたが、平成23年8月以降には震災前の水準まで回復しました。また、電力需要の問題に対応する自動車業界に追従して輪番操業を実施し、納期対応した生産を行ってきました。

この結果、売上高は2億19百万円(前年同期比11.3%減)となり、営業損失は4百万円(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、10.4%増加し、96億28百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金やたな卸資産の増加、現金及び預金の減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、6.0%減少し、52億86百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減価償却等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、4.0%増加し、149億15百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、11.6%増加し、51億25百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、2.2%減少し、15億86百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少等によるものであります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて、8.0%増加し、67億11百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて、0.9%増加し、82億4百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上や仕入債務の増加等があったものの、売上債権やたな卸資産の増加等により、1億9百万円の資金流出(前年同期は7億41百万円の資金流出)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入等があったものの、有形固定資産の取得による支出等により、32百万円の資金流出(前年同期は5億42百万円の資金流入)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金や長期借入金の返済による支出等により、3億73百万円の資金流出(前年同期は0百万円の資金流出)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、5億14百万円の資金流出(前年同期は2億5百万円の資金流出)となり、当第2四半期連結累計期間末残高は7億16百万円(前年同期は6億90百万円)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の業界動向を勘案し、平成23年5月10日に公表しました平成24年3月期の通期業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日(平成23年11月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に当たり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は1円87銭であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,418	1,910
受取手形及び売掛金	4,299	4,973
商品及び製品	244	459
仕掛品	670	1,045
原材料及び貯蔵品	700	720
その他	392	524
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	8,721	9,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,029	985
土地	2,332	2,326
その他(純額)	1,054	947
有形固定資産合計	4,415	4,259
無形固定資産	31	25
投資その他の資産		
その他	1,175	1,002
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,174	1,001
固定資産合計	5,621	5,286
資産合計	14,343	14,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,033	3,818
短期借入金	1,129	829
未払法人税等	33	36
賞与引当金	128	184
役員賞与引当金	20	10
製品保証引当金	23	29
その他	222	215
流動負債合計	4,591	5,125
固定負債		
長期借入金	867	817
退職給付引当金	482	490
役員退職慰労引当金	253	264
その他	18	13
固定負債合計	1,622	1,586
負債合計	6,214	6,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,833	1,831
利益剰余金	4,518	4,587
自己株式	△121	△110
株主資本合計	8,065	8,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	28
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△37	△34
その他の包括利益累計額合計	△0	△6
新株予約権	64	65
少数株主持分	0	0
純資産合計	8,129	8,204
負債純資産合計	14,343	14,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,757	6,321
売上原価	3,868	4,924
売上総利益	889	1,396
販売費及び一般管理費	1,099	1,256
営業利益又は営業損失(△)	△210	140
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	1	3
助成金収入	7	—
再生物売却収入	5	6
持分法による投資利益	—	22
その他	18	14
営業外収益合計	34	47
営業外費用		
支払利息	3	8
為替差損	3	8
保険解約損	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	9	16
経常利益又は経常損失(△)	△184	171
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△184	171
法人税、住民税及び事業税	6	29
法人税等調整額	△211	40
法人税等合計	△205	69
少数株主損益調整前四半期純利益	20	101
少数株主利益	0	0
四半期純利益	20	101

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20	101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△9
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△5	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	2
その他の包括利益合計	△27	△6
四半期包括利益	△7	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7	94
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△184	171
減価償却費	199	183
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	42	55
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	3	8
助成金収入	△7	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,708	△680
たな卸資産の増減額(△は増加)	△201	△610
仕入債務の増減額(△は減少)	939	790
その他	148	△4
小計	△769	△82
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△3	△8
助成金の受取額	26	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	0	△23
営業活動によるキャッシュ・フロー	△741	△109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△202	△25
有形固定資産の売却による収入	—	15
投資有価証券の取得による支出	△2	△11
定期預金の預入による支出	△3,126	△2,376
定期預金の払戻による収入	3,870	2,370
その他	2	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	542	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△300
長期借入金の返済による支出	—	△49
配当金の支払額	—	△32
自己株式の取得による支出	△0	△0
ストックオプションの行使による収入	—	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△373
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△205	△514
現金及び現金同等物の期首残高	895	1,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	690	716

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。